



2025年12月19日

各 位

上場会社名	<b>コーチル株式会社</b>	
代表者名	代表取締役社長	斎藤 盛雄
(コード番号	6905	東証プライム市場)
問い合わせ先	執行役員 経理部長 高島 大介	
T E L	076-432-8149	

## 第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年6月18日に公表した2026年5月期第2四半期（中間期）の業績予想と本日公表の実績との差異が生じたこと、および最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### I. 第2四半期（中間期）業績予想の差異について

2026年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想との差異（2025年5月21日～2025年11月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,728	百万円 628	百万円 713	百万円 406	円 銭 10.14
実績（B）	11,134	△659	117	△6	△0.15
増減額（B-A）	△3,593	△1,287	△595	△412	
増減率（%）	△24.4	-	△83.6	-	
〔ご参考〕前期中間期実績（2025年5月期中間期）	14,855	634	594	278	7.16

2026年5月期第2四半期（中間期）個別業績予想との差異（2025年5月21日～2025年11月20日）

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 10,750	百万円 770	百万円 500	円 銭 15.00
実績（B）	7,846	660	490	11.93
増減額（B-A）	△2,903	△109	△9	
増減率（%）	△27.0	△14.2	△1.9	
〔ご参考〕前期中間期実績（2025年5月期中間期）	11,547	1,379	1,133	29.12

### 差異の理由

当第2四半期（中間期）における業績につきましては、半導体関連分野においては需要回復や顧客の在庫消化が進展し、当社グループ全体の受注実績は前年同期比で増加するなど、回復の兆しが見られました。しかしながら、依然として一部の顧客では在庫調整が続いております。

当社の期初時点の想定では、顧客の在庫消化が徐々に進み、第1四半期から受注が回復すると見込んでおりましたが、実際には顧客の在庫消化が鈍く受注回復時期が後ろ倒しとなり、その結果、売上高が前回発表予想を下回る実績となりました。

利益面におきましても、人件費や経費の節減に努めたものの、売上高の大幅な減少に伴い収益力が低下し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を下回る実績となりました。

## II. 通期業績予想の修正について

2026年5月期通期連結業績予想の修正（2025年5月21日～2026年5月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	33,325	2,626	2,793	1,907	47.65
今回修正予想（B）	24,119	△814	47	30	0.73
増減額（B-A）	△9,206	△3,440	△2,746	△1,877	
増減率（%）	△27.6	-	△98.3	△98.4	
〔ご参考〕前期実績（2025年5月期）	27,052	628	740	△113	△2.84

2026年5月期通期個別業績予想の修正（2025年5月21日～2026年5月20日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	24,380	2,170	1,410	42.80
今回修正予想（B）	17,252	776	544	13.23
増減額（B-A）	△7,128	△1,394	△866	
増減率（%）	△29.2	△64.2	△61.4	
〔ご参考〕前期実績（2025年5月期）	20,044	1,509	818	20.44

### 修正の理由

当社グループが属するスイッチング電源市場を取り巻く環境においては、米国関税の影響の顕在化リスクや中国景気の鈍化による先行きの不透明感が残るもの、AIを活用した社会のデジタル化推進を背景に、引き続き半導体製造装置関連での需要増加に加え、FA関連機器、医療機器、計測器等でも顧客の在庫消化が進み、需要が回復基調に移るものと想定しております。

当社グループにおいても、半導体関連を中心に需要増加が続くと見込んでおりますが、上半期の受注回復の遅れの影響により、売上高につきましては、連結・個別とも前回発表予想を下回る見込みとなりました。また利益面においても、売上高減少の影響が大きく、経費削減に努めるものの、通期予想は前回発表予想を下回る見込みとなり、業績予想を下方修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる為替レートは、1 U.S. ドル=148.61円、1 ユーロ=172.77円、1 スウェーデン・クローナ=15.58円を想定しております。

※業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、需要動向などの変化、各種通貨間の換算レート変動、株式市況動向など、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、内外環境変化などにより業績予想と乖離することもあり得ますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

以上